



公開シンポジウム「大気海洋結合モデルが拓く長期予報新時代」開催のお知らせ

開催趣旨：

気象庁では、季節予報の精度向上のため、平成22年2月に大気海洋結合モデルを季節予報業務に導入しました。これを機に、下記のとおり公開シンポジウムを開催し、大気と海洋の数値シミュレーションによる季節予報に関する最新の技術開発、科学的知見を紹介します。本シンポジウムでは世界的な専門家を招き、エルニーニョ現象等の季節スケールでの大気と海洋の変動による影響の予測、最先端の季節予報システム、季節予報の応用利用、将来展望等について講演していただきます。皆様のご来場をお待ちしております。なお、本シンポジウムは、海洋政策研究財団の平成22年度海外交流基金により実施されるものです。

記

日 時：2010年12月8日（水）

14：00～17：20（開場13：30）

場 所：気象庁講堂

東京都千代田区大手町1-3-4

アクセス：東京メトロ竹橋駅下車 4番出口徒歩すぐ

（駐車場がご利用できません。来場には公共交通機関等をご利用ください。）

参加方法：入場無料・事前登録不要（定員200名）

主 催：気象庁

後 援：海洋政策研究財団

講演者：

- Adam Scaife 博士（英国気象局 季節から10年規模予測グループ長）
 - 前田 修平 予報官（気象庁 地球環境・海洋部 気候情報課）
 - Roberto Buizza 博士（欧州中期予報センター 診断・予測可能性セクション長）
 - 木本 昌秀 教授（東京大学大気海洋研究所 副所長）
- * 同時通訳あり

問い合わせ先：

高橋清利 気候モデル開発推進官

気象庁地球環境・海洋部気候情報課

電話：03-3212-8341（内線4224）